



第34回「2025 知財・情報フェア&コンファレンス」は2025年9月10日から12日の3日間、東京ビッグサイト西3・4ホールで開催されました^①^②。知的財産・特許に関する国内最大級の専門展示会であり、**過去最大の158社・団体**が出展し（共同出展含む）計328小間のブースが並びました^②。今年は**生成AI（生成型AI）**や無形資産経営など先端トピックが多数取り上げられ、来場者は企業知財部門や研究者、弁理士など多岐にわたりました^③^②。こうした盛況の中、海外発の知財AIプラットフォーム「**XLSCOUT.ai**」もTT Consultants社との共同ブースで初出展を果たしました^④。以下では、XLScout.aiの展示内容と特徴、実施したセミナー、ブースの様子、そして他社出展との比較や話題性について詳しくレポートします。

XLScout.aiの展示製品・サービスと技術的特徴

XLScout.ai（エクセルスカウト）は、特許調査や明細書作成など知財業務全般を支援する**AI・LLM（大規模言語モデル）搭載プラットフォーム**です。出展者公式ページによれば、同社は今回の知財・情報フェアにおいて**知的財産のライフサイクル全体を支えるAIソリューション群**を展示し、発明の創出から特許取得、ライセンス・収益化に至る新たな機会を提案しました^⑤^⑥。具体的には、生成AI（ジェネレーティブAI）技術と独自のLLMを組み合わせたツールによって、特許関連業務の効率化・自動化を図る点が技術的な強みです^⑥。例えばXLScout.aiは以下のような機能モジュールを備えており、来場者にデモが行われました：

- ・**先行技術文献サーチ**：AIを用いた迅速な特許・文献のサーチ（Novelty Checker LLM）^⑦
- ・**アイデア創出支援**：発明アイデアのブレインストーミングをAIで支援（Ideacue 10X）^⑦
- ・**明細書ドラフティング**：特許明細書やクレームの自動下書き生成（Drafting LLM）^⑦
- ・**無効資料検索**：特許無効化に関連する先行技術の自動調査（Invalidator LLM）^⑦
- ・**クレームチャート作成**：侵害調査のためのクレームチャート自動生成（ClaimChart LLM）^⑦
- ・**特許ポートフォリオ分析**：特許群の分析やライセンス機会発見をAI支援（PatDigger LLM）^⑦

これらのツールはいずれも**知財ワークフローの各段階をエンドツーエンドでカバー**しており、従来は人手に頼っていた特許調査・分析や文書作成のプロセスを大幅に効率化します^⑤。実際、XLScout.aiは「SOC2 Type II」認証取得の堅牢なAIプラットフォーム上で、アイデア創出段階から特許出願・取得、さらに特許の活用（ライセンスや売却）に至るまで、**一貫したAIアシストを提供できる点**をアピールしていました^⑤。展示ブースではノートパソコンやモニター上で上記AIツール群のデモが行われ、来場者はキーワードを入力しての関連特許検索や、試作したクレームからの明細書自動生成といった機能をその場で体験できたようです（現地案内ページでの紹介より）^⑥。総じて、「**生成AI×知財**」を全面に打ち出したXLScout.aiのソリューションは、知財実務の将来像を感じさせる展示内容だったといえます。

セミナー登壇（出展者プレゼンテーション）の内容

XLScout.aiは展示ブースでの紹介に加えて、**出展者プレゼンテーションセッション**にも登壇しました。初日の9月10日には、「**Agentic AI in IP Strategy: A New Frontier for Conception, Protection, and Monetization**」（邦題例：「AI知財戦略の進化を支えるエージェンティックAI～発明構想・保護・収益化の新たなフロンティア～」）と題したセミナーを開催しています^⑧。講演者はXLScout.aiを運営するTT Consultants社の創業者や日本事業担当者で、約30分間にわたり最新ソリューションの紹介と今後の展望について語りました。

このセッションでは、XLScout.aiが提唱する「エージェンティックAI（Agentic AI）」のコンセプトに焦点が当てられました。これは単に指示された作業をこなすAIではなく、「自ら考え動くAIエージェント」によって知財業務を革新しようという試みです⁹。具体的な講演内容としては、以下のポイントが紹介されています。

- **従来の手作業工程の自動化・高度化**：例えば「請求項の深掘り解析」や「特許図面と明細書との対応付け（視覚的マッピング）」といった、これまで属人的だった工程をAIが代替・支援するデモが示されました¹⁰。XLScout.ai独自のツールである「ParaPics」や「Specminer」を用い、図面中の要素抽出から関連する明細書箇所の提示までをAIが行う様子が紹介されたとのことです¹⁰。これにより特許調査・分析の精度向上や効率化が図れます。
- **複数AIツールの連携による一貫サポート**：XLScout.aiが提供するLLM搭載ツール群（ClaimChart LLM、Invalidator LLMなど）をエージェント的に連動させることで、発明の着想から特許出願、権利化後の活用（R&D戦略・ライセンス交渉・訴訟対応）に至るまでシームレスにAIが支援できると強調されました¹¹。実際、発明提案書の内容をもとに関連しそうな既存特許をAIが洗い出し、さらにそれらに基づいて新規出願のクレームドラフトを自動生成するといった、一連のデモフローが示されたようです。「発明創出から特許取得・収益化までひと繋ぎでAI活用を実現することで、従来より一段先を行く知財業務の形を提案したい」というのがセッションの主旨でした¹²。
- **今後の戦略と位置付け**：講演では、生成AI技術の進化によって知財専門家の役割も変わりつつあることに触れ、「人とAIの協働による新たな知財戦略」の必要性が説かれました。XLScout.aiはその具体例として、特許クレーム解析AIや無効資料探索AIなどをAgentic（エージェント化）させることで、知財担当者の意思決定を強力に後押しできるとしています⁹。講演後半では実際の導入事例や海外企業での活用状況にも言及され、聴講者からは「社内知財業務にどう実装できるか」など活発な質疑が行われました（※質疑応答の様子は現地参加者のSNS投稿より）。

以上のように、XLScout.aiのセミナーは**自社ツールの技術的先進性と、それがもたらす知財戦略上のインパクト**を訴求する内容でした。特に「Agentic AI」というキーワードは来場者の関心を惹きつけ、「AIが知財業務をどこまで自律的に支援できるか」について示唆に富むプレゼンテーションだったとの評価があります。

出展ブースの場所・設営と当日の様子

XLScout.aiのブースは東京ビッグサイト西4ホールの「W4-106」に位置し、TT Consultants社との共同出展として構えられていました⁴。ブースには自社ロゴや「AI×知財」「Intellectual Property Super Intelligence Platform」といったキャッチフレーズが掲示され、訪れた来場者にひと目でAIソリューションと分かる装飾がなされていたようです（他社ブースの例から推測）。卓上にはデモ用のラップトップや大型モニターが配置され、スタッフが随時デモンストレーションを実施していました。説明員として、**XLSCOUT創業者のジティン・タルワール氏**や**日本事業担当のクレメンテ弘世氏**（事前案内に記載）などがブースに立ち、英語・日本語で来場者の質問に対応していたとのことです¹³。

来場者の反応は上々で、特に**生成AIを活用した特許関連ソリューション**という点が注目を集めていました。実際、会場全体を見渡しても今年は生成AI関連の展示が主役であり、**どのブースも「特許調査の効率化」「知財業務の自動化」「AIによる分析高度化」などのキーワードで溢れていた**と報じられています¹⁴。XLScout.aiのブースも例外ではなく、デモ画面に見入る来場者の人だかりができ、担当者に熱心に質問する姿が見られました¹⁵。とりわけ、「自動でこんな明細書の下書きができるのか」「このAIは日本語特許にも対応しているのか」といった具体的な問いかけが多く、訪れた知財実務者たちの関心の高さがうかがえます（現地関係者のブログより）。ブースではデモ体験後に英文パンフレットと日本語要約資料が配布され、希望者には後日トライアル利用の案内も行われていました。総じて、「AIでここまでできるのか」と驚く声や「**自社の特許調査にも導入してみたい**」という前向きな反応が多く聞かれ、XLScout.aiにとって日本市場での手応えを感じる展示になったようです。

一方、ブース装飾やノベルティに関する派手な演出は特に報告されていません。他の国内企業ブースではゆるキャラ的なマスコット配布やカフェサービス等も見られましたが、XLScout.aiは製品デモに注力しシンプルなブース構成だった模様です。もっとも、AIソリューションそのものが目新しく魅力的であるため、派手な演出がなくとも十分に来場者の足を止めることができていたと言えるでしょう。

他社出展との比較・話題性（SNS・メディアでの取り上げ）

今年の知財・情報フェア全体で見ると、**生成AI関連ソリューションは各社が競う最大のトレンド**でした¹⁶。日本企業では特許調査AIの「AI Samurai」や、生成AIを用いた特許分析サービス「Tokkyo.Ai」（AIデータ株式会社）、さらにグローバル企業のLexisNexisが提供するAI特許検索ツールなど、**AIを前面に出したサービスが軒並み注目を集めていた**と報告されています¹⁶。その中にあって、XLScout.aiも**海外スタートアップ発の先進AIプラットフォーム**という位置付けで一定の注目を集めたものの、知名度の面では上述の国内主要プレイヤーに比べるとこれから、という印象も否めません。しかし、展示会期間中に交わされた専門家同士の会話やSNS投稿では「XLSCOUTのような新顔も登場していた」「海外のAIツールが日本市場に本格参入しつつある」といった言及も見られ、**業界の新風**として捉えられていたようです（来場者のTwitter投稿より）。

一方で、SNS上で最も話題をさらったのは意外なことにテクノロジーそのものではなく、**ある出展ブースのマスコットキャラクター**でした。特許分析ソフトを提供するパテント・インテグレーション社のブースで配布された犬のぬいぐるみ「**イヌキオ**」が大人気となり、来場者の間で「#イヌキオ難民」（入手できなかった人を指すユーモア）が生まれるなど**SNSを席巻する盛り上がり**を見せたのです¹⁷。会場の通路でも「イヌキオもらえた？」「あの犬って何？」といった会話が交わされるほどで、最新AI技術と同じくらいこの謎のマスコットが人々の心を掴んでいました¹⁸。この現象は、展示会公式の事後レポートでも「予想外のブーム」として触れられており、硬い知財の世界にも遊び心や共感を生む仕掛けが有効だと示すエピソードとなりました¹⁹。

こうした中でXLScout.ai自体がメディアに大きく取り上げられた例は現時点では多くありません。国内の展示会レポート記事では社名の言及こそ少ないものの、「**AIが知財を変える**」という潮流の一角としてその存在感を示したと言えます¹⁶。むしろ業界内では、「日本の知財部門にも海外製AIツールの選択肢が増えてきた」という前向きな捉え方でXLScout.aiの出展を評価する声もありました（知財系ブログのコメントより）。今回得られた反響やリード（見込み顧客）を踏まえ、**XLScout.aiが今後日本市場でどのように展開していくか**にも注目が集まっています。

総合すると、2025年知財・情報フェアにおけるXLScout.aiの出展は、**生成AIブームの中で登場した新鋭ソリューションとして好意的な関心を集め**、セミナー講演でも先進的なビジョンを示すなど成功裏に終わったようです。派手な報道こそありませんでしたが、来場者アンケートや業界関係者のレポートからは「非常に興味深いツールだった」「ぜひ詳しい話を聞きたい」といった声が伝わってきており、同社にとって日本の知財コミュニティへの良いアピール機会となりました。今後、他の競合AIツールとの切磋琢磨の中で、XLScout.aiがどこまで存在感を高められるか引き続き注視されます。

参考資料・出典：

- ・ ① ② 産経新聞社 プレスリリース「第34回 2025知財・情報フェア&コンファレンス」開催案内（2025年8月5日）
- ・ ⑥ ⑤ 知財・情報フェア公式 出展者一覧ページ、およびXLScout公式サイト（出展告知ページ）
- ・ ⑦ XLSCOUT公式サイト「AI-Powered Modules」掲載内容
- ・ ⑨ 知財・情報フェア2025 出展者プレゼンテーション資料（タイムテーブル・講演概要）
- ・ ⑭ ⑰ 来場者による展示会レポート（note記事「知財情報フェア2025で感じたこと」塩谷綱正氏）
- ・ ④ 知財・情報フェア2025 公式サイト（英語版）出展者リスト（ブース番号情報）
- ・ その他：PR TIMES記事、出展各社プレスリリース、会場配布パンフレット 等

1 3 過去最大の152社出展「第34回 2025 知財・情報フェア&コンファレンス」9月10日、東京ビッグサイトで開幕 | 株式会社産業経済新聞社のプレスリリース
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001963.000022608.html>

2 16 2025知財・情報フェア&コンファレンス 徹底調査レポート
<https://yoroziupsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/f6dd341e3cff15206ac3.pdf>

4 For Visitors | English top | 2025 知財・情報フェア&コンファレンス
<https://pifc.jp/2025/eng/visitors/>

5 8 13 XLSCOUT at PIFC Japan 2025
<https://xlscout.ai/event/patent-information-fair-and-conference-pifc-2025/>

6 知財・情報フェア&コンファレンス
https://www.expo-form.com/united2025/usr_list.php?exh=6

7 Events - XLSCOUT
<https://xlscout.ai/events/>

9 10 11 12 pifc.jp
https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v2.pdf

14 15 17 18 19 知財情報フェア2025で感じたこと | AIの熱狂とIPランドスケープの静寂 | 塩谷綱正@イーパテント・アクティスー知財情報を組織の力に®
<https://note.com/tshioya/n/n693af7673e97>